

1 歳半からの体幹湿疹と 2 回のリバウンドを経て皮膚状態が整った幼児アトピーの経過 (2 歳 女児)

症例 ID：001-02-NN2 | 記録日：2017 年 12 月 3 日

1. 診断・治療前経過

1 歳半頃に腹部と背部へ多数の湿疹が出て、赤みとかゆみが強くなりました。近医で乾燥性湿疹と診断され、ステロイドと保湿剤を使用しました。

ステロイドで一時的に改善しましたが、中止翌日から再燃し、約 1 か月にわたり使用と再燃を繰り返しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	腹部・背部の湿疹にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	弱い外用薬と説明されました。
使用期間	約 1 か月です。
中止時期	松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1 歳半頃	発症	腹部と背部へ湿疹、赤み、かゆみが広がりました。
約 1 か月	外用継続	ステロイドで軽減しては翌日から再燃する状態を繰り返しました。
松本医院受診	治療開始	煎じ薬と複数の外用薬を開始しました。
開始約 1 週間	初期変化	赤みとかゆみが少しずつ軽減しました。
開始約 1 か月	リバウンド 1 回目	一時的に症状が再び強くなりました。
開始約 3 か月	リバウンド 2 回目	再度症状が出ましたが、短期間で落ち着きました。
開始 9 か月	経過後	皮膚状態が整い、見た目にも症状が目立ちにくくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療前に腹部と背部全体へ赤みとかゆみが広がった時期です。治療後には 1 か月後と 3 か月後に一時的な再燃がありました。

5. 困りごと

- 外用薬を 1 日 3 回塗り、煎じ薬を飲ませることに家族の負担がありました。
- 幼児が外用や服薬を嫌がり、継続に工夫が必要でした。

6. 経過のまとめ

治療開始約 1 週間後から赤みとかゆみが軽減し、1 か月後と 3 か月後に一時的な再燃を経験しました。

治療開始 9 か月時点では皮膚状態が整い、症状が目立ちにくくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。